

平成26年度青少年アンビシャス運動支援の会助成事業成果表

①当初助成

〔海外事業 1団体〕

No.	助成団体名	活動の概要(①活動名②時期・内容③参加状況④成果)	所在市町村
1	沖田地区国際交流事業委員会	<p>①日韓文化交流会</p> <p>②渡韓:H26/8/4～8/5、受入:H27/1/22～1/24</p> <p>8月に釜山広域市の「金谷高等学校・徳文中学校」を訪問し、演奏、ダンス、民族舞踊やバスケットボールなどの交流を通じて、お互いの文化、習慣等を理解し親交を深めた。また、1月には金谷高等学校の学生を「県立中間高等学校」に受入、高校生同士の交流の場を演出した。これらにより、隣国との友好を図るとともに国際感覚に優れた青少年の育成に努めた。</p> <p>③13歳～18歳、渡韓:中学生4名、高校生21名。受入:高校生35名。</p> <p>④支援の会の助成により子どもたちの参加費の負担軽減ができ、参加促進につながった。</p> <p>今回の交流が子どもたちの相互理解を深める助けとなり、国際感覚を養う機会となった。</p> <p>子どもたちの間では、お互いの国の文化や習慣などを理解し、尊重することの大切さに気付き、PC、FB、LINE等で互いの交流が始まるなど、具体的な成果が見受けられた。</p>	北九州市 八幡西区

〔国内事業 12団体〕

No.	助成団体名	活動の概要(①活動名②時期・内容③参加状況④成果)	所在市町村
1	NPO法人 ふくおか森の学校	<p>①放課後サポート事業「放課後教室・ネイチャー寺子屋」</p> <p>②H26/5/20～H27/3/17 篠栗町や新宮町で年間を通して64回実施。</p> <p>単に子どもを預かり遊ばせる場ではなく、専門家を招き体験教育の一環とした活動を行った。また地域の方々等の協力を得て、「自然あそびの日」、「料理教室の日」など身近な環境を利用した体験活動を行う中で、「あそび」等を通じて、思いやりの心や互いに協力することの大切さを学ぶ機会を創出し、子どもたちの心身の育成に努めた。</p> <p>③篠栗町・新宮町の小学生を中心に、延べ503名参加。</p> <p>④年間を通して、「子どもの居場所作り」を行うことで、集団活動を通して子どもたちの思いやりの心を育み、互いに協力することの大切さを学ばせることができた。</p> <p>また、保護者からも“地域を越えた交友関係が持てる”、“身近な自然の中で思いっきり自然体験ができる”、“のびのびと子どもたちが自由に遊べる”といった高評価をいただき、継続を望む声が多かったとのこと。</p>	糟屋郡 篠栗町

2	日本ボーイスカウト 福岡県連盟	<p>①第9回九州・沖縄キャンポリー・インスパイア/ジャパンに参加する世界各国のスカウト、一般青少年との国際交流活動</p> <p>②福岡会場(国立夜須高原青少年自然の家):H26/7/30~8/2 ※同様に、山口県、愛媛県でも一環の事業として別途開催。 来福した世界各国のスカウトと福岡県のスカウトや一般青少年の交流活動を行った。世界各国の子どもたちが一同に会し、日本文化や異国の文化を学び相互理解を深めることにより、世界に目を向けた国際感覚豊かな青少年の育成を図った。</p> <p>③14歳~18歳、福岡県参加者:30名、海外:4カ国11名</p> <p>④3県で開催中、福岡開催分は福岡連盟が負担となっているため、会計上厳しかったが、支援の会等からの助成があり何とか実施することができた。 参加した青少年の反応は、例年と同様に「相手の国や文化を知ることができた」、「日本の素晴らしさに気付かされた」、「外国の友人ができた」など、言葉や意思疎通の大切さを感じているようであった。 また、このような異文化交流に接するなかで、積極性や達成感を得たことが観て取れ、グローバルな感覚を持った、今後の活躍が期待される青少年の育成につながっている。</p>	福岡市 博多区
3	つくし ヤングラガーズ	<p>①第41回九州少年ラグビー交歓会</p> <p>②会場(国立阿蘇青少年交流の家):H26/8/22~8/24 九州地区の少年ラグビーチームが阿蘇に集い、日頃の練習成果を競い合い、かつ親睦を深めることで、ラグビー精神を鍛えるとともに、ラグビーを介した子どもたちの心身の成長を促した。 また、団体生活での規律を身につけさせたり、阿蘇の大自然に触れることで、心身ともに健全な子どもたちの育成を図った。</p> <p>③小学校6年生のみ 本県参加者17名</p> <p>④九州各県から集まった子どもたちとのラグビーを通じた体と体のぶつかり合いの中で、みんな一回り大きくなった。 また、同じ環境の中で共同生活をする中で団体生活での規律を学んだ。 今回、全勝優勝でき、子どもたちも自信を着けたようで、「未来の日本代表を目指して頑張ります！」などの反応があった。 少年ラグビーの理念のもと、ボランティアで活動しており、支援の会の助成を有意義に使わせていただいたとのこと。</p>	福岡市 博多区
4	中友剣道 スポーツ少年団	<p>①剣道の理念による向上と青少年の融和・交流</p> <p>②年間を通して、中友小学校をはじめとする大牟田近隣地区等で青少年剣道の育成。(最大のものは大牟田近隣地区青少年剣道錬成大会H26/10/26) 剣道の理念を下に、青少年の技術向上をはじめ人としての礼儀作法や社会常識を学ばせるとともに、剣道の大会を通じて、同じ目標を持った子どもたち間の融和や研鑽を促した。 また、県内の地方大会をはじめ近県の大分・佐賀・熊本等の多くの大会に参加し、剣道を通じた交流活動を行った。</p>	大牟田市

		<p>③大牟田近隣地区青少年剣道錬成大会：400名(うち半数が中友小(150名)と中友中(50名))、近隣県の大会(日田市、山鹿市、佐賀市)：各10数名程度、中友校区交流会：60名。ほか、練習等も含めると延べ777名に上る。</p> <p>④今回、支援の会の助成を受けたことにより、初めて大牟田近隣地区の剣道青少年が一堂に会した錬成大会を開催することができた。</p> <p>錬成大会などを通して、多くの剣道青少年に接することで、子どもたちは、自分を取り巻く世界を拡げ、自信を得て、更なる自己努力を重ねるようになり、技術向上、人格形成につながっている。</p> <p>また、これらの活動経験を活かし将来的に、地元を愛し、剣道の発展に努めるような豊かな人間を育む土壌となっている。</p>	
5	飯塚市立 片島小学校PTA	<p>①「“新”家庭教育宣言」運動に取り組み、 家庭教育の充実をめざす～親子で読書をしよう～</p> <p>②H26/4～H27/3 「片島小学校」で年間を通して30回実施。</p> <p>年間を通じ、各家庭における親子での読書活動啓発と、小学校各クラスにおける保護者有志による上記の読み聞かせを実施した。また、外部講師を招いての読み聞かせ「1日団長DAY」や、わかくさおはなしの会による「絵本の読み聞かせ会」を開催、子どもたちが本に親しみを持てるような機会を演出した。</p> <p>③片島小学校児童400名</p> <p>④支援の会からの助成を受け、“本のソムリエさんによる講話・読み聞かせ”や、“わかくさおはなしの会による「絵本の読み聞かせ会」”を開催することができた。</p> <p>団長さんのお話は、こどもたちに「これからの人生、自信を持つことが大切なんだ」と強く心に感じたようで、その日を境に、子どもたちの眼が生き生きと輝いてきたので、大変有意義な授業であったことを実感した。</p> <p>また、絵本「おかあさんだいすきだよ」の読み聞かせは、子育て中の母親には心に響くものがあり、涙しながらに聞く方もおられるほど効果の大きい読み聞かせの会になった。</p> <p>この活動は子どもが本に興味を持ち好きになる動機付けとなっており、読書好きで豊かな心を持つ子どもが育ち、健やかな成長と学力の向上に確実に結び付けるため、今後とも、子どもたちの更なる向上と健全な成長を応援していくとのこと。</p>	飯塚市
6	宮地嶽相撲クラブ	<p>①福岡県内外の子どもたちとの相撲交流</p> <p>②H26/4～H26/11の間、相撲を通じた青少年の育成と交流を実施。</p> <p>地元の「宮地岳神社」や「諏訪神社」、「福津市まちおこしセンター」などで子どもたちに対する相撲の研修や土俵入り、行事参加などを行った。また、熊本県の「宇土市鶴城中学校」における他県の子どもたちとの、相撲を通じた青少年の育成大会に参加し交流を深めた。</p> <p>③小学生・中学生 延べ約200名</p>	福津市

		<p>④このような多くの相撲交流を行うことで、子どもたちが相撲をとおして逞しく育ち、礼儀や自信、誇りを身に付け、積極性やコミュニケーション力を発揮できるようになった。</p> <p>また、今年も支援の会の助成を頂き、県外での相撲交流などが実現し、活動の充実が図れた。</p>	
7	のぞみいきいき アンビシャス広場	<p>①あすなろ ミュージックコンサート</p> <p>②H26/9/20 「のぞみが丘小学校」</p> <p>のぞみが丘小学校のあすなろの木の下でミュージックコンサートを開催。企画運営からステージ発表までを子どもたちが行い、たくさんの地域の方々の前で披露することで、子どもたちにやり遂げたという達成感を感じさせることで、自主性や自信を身に付けさせ、意欲や志を高め育むことに努めた。</p> <p>③6歳～18歳 80名(総来場者数:300名)</p> <p>④ボランティアスタッフとして参加した中・高校生は、準備段階から研修を重ね、マネージメントやMC、タイムキーパーなどスタッフの中軸としての活動を行った。これにより、少しずつ自信を深め、行動や考え方が積極的になってきた。</p> <p>小学生も、夏休み中からリコーダーの練習を行い、合奏を披露するなど、地域のシンボルである「あすなろの木」の下で力を合わせて頑張ったことで、ふるさとへの思いを一段と高めてくれた。</p>	小郡市
8	枝光南アンビシャス 広場委員会	<p>①みんなで遊ぼう！ IN 高炉台公園</p> <p>②H26/10/19 「高炉台公園」</p> <p>親子の集える多世代交流イベントとして上記催しを企画、地区の交流の場を創出することで、地域の絆を深め、子どもたちを地区全体で見守っていくきっかけづくりを行った。</p> <p>また、外遊びが少なくなってきた子どもたちに、太陽の下で思いっきり遊べる多様な催しを実施した。</p> <p>③未就学児～小学生 80名(総参加者数:197名)</p> <p>④今回、支援の会から助成を受けたことで活動が継続でき、地域ぐるみでの活動が実施できた。子どもたちは、異年齢の集団で遊ぶことにより、幼い子や参加された高齢者への思いやりの心などを育むことにつながった。</p> <p>また、さまざまな体験活動を通して、子どもたちの運動能力や、考察力の向上を図るとともに、ゲームをする中でルールを守ることの大切さや、お友達と一緒に楽しく遊ぶといった協調性学ばせることができた。</p>	北九州市 八幡東区

9	総合型地域スポーツ クラブ「スポーツ BRANDEX福岡」	<p>①青少年サイクルスポーツ、一輪車教室及び大会</p> <p>②H26/4～H27/3 「グリーンピアながわ」や「安徳南小学校」、「岩戸小学校」などで、年間を通して活動。</p> <p>上記3カ所で、青少年の健康増進と健全育成のため、自転車・一輪車を使った交流スポーツ大会(サイクルサッカー、サイクルフィギア、一輪車演技)を開催し、子どもたちを起爆剤にした地域の活性化を図った。</p> <p>また、肢体不自由児でも使用できる自転車を造り、同等に練習や試合を行うなど、障害を持つ青少年と健常者がともにスポーツを楽しめる体制作りに取り組んだ。</p> <p>③未就学児～高校生 953名(未就学児:55名、小学生:426名、中学生:329名、高校生:143名)</p> <p>④個人技術のみではなく、グループ活動の重要性を経験したことで、チーム演技や競技にはグループとしての意思疎通が取れないとうまくいかないことを体感させることができた。</p> <p>また、交通事故など事故を減らす意味でも、幼年期からのサイクルスポーツに親しむことで身体能力の向上につながった。</p> <p>このような活動が実を結んで、H27年12月の「室内サイクルスポーツ全日本大会」が那珂川町にやってくることとなった。</p>	那珂川町
10	サイレントキッズ・ ベビークラブ	<p>①聴覚障害児の子育て支援</p> <p>②「えーるピア久留米」と「子育て交流プラザ」で、年間8回の手話による読み聞かせ活動などを実施。</p> <p>聴覚障害を持つ乳幼児が同じ障害を持つ仲間と触れあい、遊びなどを通して手話を身につけ、手話の楽しさを味わいながらコミュニケーション能力と自尊心を高めあう場を提供した。</p> <p>また、保護者に対して学ぶ場を提供し、先輩保護者や成人聴覚障害者と関わることで、手話や育児方法を具体的に学ぶことを通じて今後の育児に見通しを持てるようにサポートを行った。これらの保護者支援を通じて子どもの健やかな発達を助長した。</p> <p>③就学前幼児:20名 延べ81名 (保護者等:延べ183名)</p> <p>④手話による本の読み聞かせは保護者からも好評で、子どもたちも目を輝かせて聞いてくれて、本への親しみを持たせることができた。</p> <p>また、教育・療育関係者による連続講義は、保護者が今後の育児方法を具体的に学び、見通しを持てるようにサポートすることにつながっており、聴覚障害児の成長に寄与することとなっている。</p> <p>なお、支援の会の助成を受けたことで、この連続講義を実現することができたとのこと。</p>	久留米市

11	ドリームチルドレン	<p>①はっけん！たいけん！わくわくキャンプ！！2014</p> <p>②H26/7/26～7/27 「蛇淵キャンプ場(みやこ町犀川)」</p> <p>子どもたちが1泊2日のキャンプで、グループを編成し、「出会いのゲーム」や「料理作り」、「ワークショップ“未来予想図”」など様々な体験を行った。</p> <p>③小学校4～6年生 38名</p> <p>④子どもたち自らに、道具作り(竹の弓矢)や料理作り、将来の自分について考えるワークショップなどに主体的に取り組ませ、達成の喜びを実感し自己表現力やコミュニケーション力の向上を図ることができた。</p> <p>また、学校や年齢の異なる子どもたちに集団活動をさせることで、他者を大切に、協力することの大切さに気づかせるような交流キャンプとなった。</p> <p>平成24年度から3年間支援の会の助成金を頂いたことで、回を重ねる毎に定着し、子どもたちの成長する姿も見られており、今後とも、子どもたちの成長のお手伝いをして行きたい。</p>	北九州市 八幡西区									
12	NPO法人城南健康 ふれあい倶楽部	<p>①元気っ子9楽部(げんきっこらぶ)</p> <p>②「中央町ふれあいほーる」と「篠山小学校体育館」で、年間を通して176回の「元気っ子教室」を開催。</p> <p>平日の夕方や隔週土曜日に、子どもたちの居場所づくりとして「元気っ子教室」を行った。毎回プログラムを工夫し、子どもたちのマンネリ化を防ぎつつ、常に新鮮な雰囲気づくりに取り組んだ。</p> <p>最近の室内ゲームに興じる子が多い中で、体を使った遊び(鬼ごっこやドッジボール)などを通して、より健康的な子どもの育成を行った。</p> <p>③年長～中学生</p> <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>平日</td> <td>165回</td> <td>延べ1, 512名</td> </tr> <tr> <td>隔週土曜日</td> <td>11回</td> <td>延べ 227名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>176回</td> <td>延べ1, 739名</td> </tr> </table> <p>④放課後の子どもたちが楽しく遊べる場を提供したが、やってみて、子どもたち同士の遊びや、学び合いが如何に大事かを改めて実感できた。</p> <p>また、毎月第3土曜日の午前中にスポーツけん玉教室を開催したが、けん玉を通して、集中力や忍耐力を身につけるとともに、幅広い年齢の子が参加することで異学年交流や横のつながりだけでなく、小学校の校区を超えた交流ができた。</p> <p>今回の活動を通して、子ども一人一人が自分で考え、自分で判断する力や異学年での助け合いができるようになり、自立支援の一助になった。</p>	平日	165回	延べ1, 512名	隔週土曜日	11回	延べ 227名	合計	176回	延べ1, 739名	
平日	165回	延べ1, 512名										
隔週土曜日	11回	延べ 227名										
合計	176回	延べ1, 739名										

② 追加助成

〔国内事業 5団体〕

No.	助成団体名	活動の概要(①活動名②時期・内容③参加状況④成果)	所在市町村
1	NPO法人 がんサポーター	<p>①未来ある子どもたちに伝えたい 「いのちのホームルーム」がん教育プロジェクト</p> <p>②H26/10～H27/3 「千早小学校(5年生)」や「和白中学校(3年生)」、「若葉高校(全校)」など13校(当初8校の予定)で実施。 患者スピーカーや保健師を東区等の13小学校に派遣し、授業の形態で、「がん」への正しい知識や「早期検診」が大事なこと、「生きること」の大切さを学ばせた。 このことにより、子どもたちの心身の成長を促すとともに、波及効果として、子どもたちによる家族への啓発を目指した。</p> <p>③2,497名(小学生:828名、中学生:485名、高校生:1,184名)</p> <p>④子どもたちは大変真剣に聴き、質問もたくさんしてくれた。がんの正しい知識を学び、体験者の話を聞いて感じ泣き出す子もいたぐらいで、子どもたちの反応は予想以上だった。 アンケート結果からも、「帰ってきてすぐ、この授業の話をしてくださいました」とか「真剣に話を聴いてきたようで、たくさんお話しをしてくれました」などの保護者からのコメントもいただいた。 子どもたちのなかには、「お父さんお母さんにちゃんと検診に行くよう言ったよ」と声を掛けてくれる子もいて、このプロジェクトの目的である、がんのことだけでなく、いのちの大切さや時間の大切さ、人の温かさを感じて感謝して思いやることの大切さが、しっかり伝わっていることが実感でき、子どもたちの“こころの成育”につながっている。 学校側からも、「非常にいい授業でした」や「来年もお願いします」など高評価いただき、継続を求める声が多い。 なお、支援の会ははじめ医療関係者など多くの方からご支援を頂き、このプロジェクトを立ち上げることができたとのこと。 また、この活動は「日本臨床腫瘍学会学術集会」での発表やKBC「アサデス」での放映など、多くのところで紹介された。 平成27年度には、福岡県や福岡市の教育委員会も賛同し、モデル授業に取り入れる予定とのこと、既に36校での実施まで拡大する予定で、教育現場で大きな反響を呼んでいる。</p>	福岡市 東区
2	子どもに能楽を勧める会(英扇会)	<p>①「福岡宝友会」及び「子どもと留学生の能楽発表会」</p> <p>②H26/7～H26/11 「大濠公園能楽堂」や「水巻町中央公民館」「浅川市民センター」などで能楽教室や発表会を開催。 「福岡宝友会」と「子どもと留学生の能楽発表会」の舞台に立つため、子どもたちと留学生がともに稽古を積み、お互いの交流や他地域の子どもの交流を行った。</p> <p>③3歳～高校3年生:15名、留学生(大学生)4名</p>	北九州市 八幡西区

		<p>④子どもたちにとってこれらをやり遂げたことが、伝統文化への理解を深めるとともに、礼儀作法や協調性、忍耐力が身につき、また舞台度胸や集中力を養うことにつながっており、自立や健全な育成に貢献できている。</p> <p>留学生にとっても学校の勉強以外に、伝統的な日本の文化に触れることができ、異文化の理解につながったとの感想もあり、中には京都外国語大学院に進学し、京大生とともに稽古に励んでいる留学生も出てきたとのこと。</p> <p>なお、この活動は西日本新聞や毎日新聞などで取り上げられた。</p>	
3	<p>地域企業連合会 九州連携機構</p>	<p>①FUKUOKAみらいフェスタ2014</p> <p>②H26/7～9 参加した児童等の親の会社65社</p> <p>子どもたちに、自分の親の職場を訪問し、親の働く姿を見させることで、親子の絆を深めるきっかけ作りの場を提供した。</p> <p>併せて、子どもたちに感想文や親への感謝状を作成させ発表する場を与え、親子関係の改善、ひいては子ども自身の心身の成長を目指した。</p> <p>③3歳～14歳 277名(未就学児:10名、小学生:265名、中学生:2名)</p> <p>④子どもたちにとって、自分の親が会社の中で働いている姿を観ることで、親への尊敬の念が増し、感謝の気持ちも深まって、ひいては自分の行動を改めるきっかけづくりになった。</p> <p>また、参加家族の絆を深めたり、子どもたちの仕事への理解が進むことで親自身の就労意欲が高まって、それぞれの企業の活性化にもつながっているとのこと。</p>	<p>福岡市 博多区</p>
4	<p>子どもまちづくり トスクール 「エウレカ」 実行委員会</p>	<p>①子どもまちづくりスクール「エウレカ」</p> <p>②「アイランドシティ照葉」を舞台に、子どもたちの目線でまちづくりを行うプロジェクトを、年間を通して推進。</p> <p>「まちへの帰属意識の醸成」や「10年後の自立的な大人を育てる」ためのワークショップや講座を開催。子どもたちに主体的にまちづくりに関わらせ、考え、意見を交換し、実行することを体感させることで、子どもたちの健全な育成と自分の住むまちへの愛着を持ってもらうよう取り組んだ。</p> <p>③6歳～11歳 延べ76名(すべて小学生)</p> <p>④初期は自分自身を発見する取り組みを行い、中盤からは“まち”との関わりを考え、「子どもだじゃれカフェ」の企画・運営や、みんなが座れるイスを考え製作する「イス 知るつくるすわる見る」イベントなど、外の向かった取り組み(まちに残る活動)を行うことで、子どもたちの積極性や自分たちの住むまちへの愛着心を育むことに効果があった。</p> <p>また、西日本新聞(アイランドシティ版)など多くの情報媒体で活動の紹介をいただいたことで、地域の活動として認知が進んでおり、住民からも継続的な取り組みへの要望が上がっているとのこと。</p>	<p>福岡市 東区</p>

5	<p>NPO法人 こどもと文化のひろ ばわいわいキッズ いいつか</p>	<p>①琉球文化に触れ 豊かな心を育てよう</p> <p>②H26/8/23、8/30:エイサーの説明とエイサー太鼓の作成 H26/9/6:エイサー発表会(庄内公民館大ホール)</p> <p>沖縄の盆踊りである「エイサー」について、歴史や太鼓、基本隊列、見どころなどを学び、実際に体験させることで、琉球の伝統文化に触れ、自分たちの住む地域の文化に気づき見直す場を演出した。</p> <p>③小学生・中学生 延べ48名(実数:小学生25名、中学生1名)</p> <p>④子どもたちは、エイサーで使う段ボール製の太鼓キットの製作から始めて、太鼓をたたきながらの踊りや掛け声など難しいことに挑戦するなかで、異文化性の高い沖縄の琉球文化に触れる体験を通して、子どもたちの豊かな心、感じる心を育むことができた。</p> <p>このような優れた芸術文化を聴き、踊りを学ぶこと、そして、それらのことを自分たちの力でやり遂げることの大切さを学ばせることができ、子どもたちのバランスの取れた成長を助長することができた。</p>	飯塚市
---	--	--	-----